

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



G00002

(43) 国際公開日
2002 年 8 月 8 日 (08.08.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/061479 A1

- (51) 国際特許分類⁷: G02B 6/30 (72) 発明者; および
(75) 発明者/出願人 (米国についてののみ): 横町之裕 (YOKO-MACHI, Yukihiro) [JP/JP]; 豊岡弘康 (TOYOOKA, Hiroyasu) [JP/JP]; 〒244-8588 神奈川県横浜市栄区田谷町1番地 住友電気工業株式会社 横浜製作所内 Kana-gawa (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/10461
- (22) 国際出願日: 2001 年 11 月 29 日 (29.11.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (74) 代理人: 上代哲司, 外(JODAI, Tetsuji et al.); 〒554-0024 大阪府大阪市此花区島屋一丁目1番3号 住友電気工業株式会社内 Osaka (JP).
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ: 特願2001-18325 2001 年 1 月 26 日 (26.01.2001) JP (81) 指定国 (国内): CA, CN, IL, KR, SG, US.
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 住友電気工業株式会社 (SUMITOMO ELECTRIC INDUSTRIES, LTD.) [JP/JP]; 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 Osaka (JP). (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書

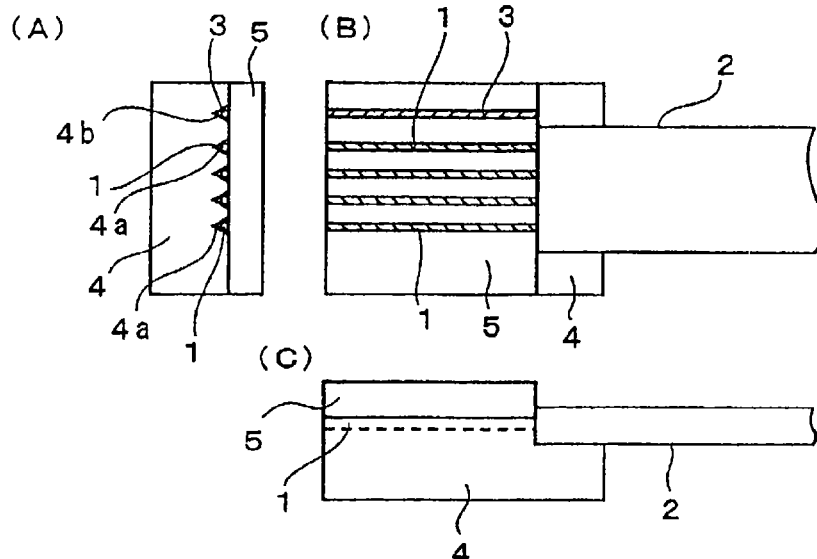
[続葉有]

(54) Title: OPTICAL FIBER ARRAY, AND CIRCUIT CONNECTION METHOD USING THE OPTICAL FIBER ARRAY

(54) 発明の名称: 光ファイバアレイ及びそれを用いた回路結合方法



162162



(57) Abstract: A circuit connection method using an optical fiber array capable of connecting the optical fiber array to an optical part through circuits, comprising the steps of preparing the optical fiber array having a marker visible from the upper or side surface of the optical fiber array disposed parallel with an optical fiber (1) while maintaining a specified interval from the disposed position of the optical fiber (1), and aligning the position of the end face of the marker of the optical fiber array to a marking provided on the optical part, whereby, an operation allowing monitor light to be mutually transmitted between the core part of the optical fiber and the core part of an optical wave guiding passage can be performed easily by roughly matching the position of the core part of an optical fiber to the position of the core part of an optical wave guiding passage opposedly to each other as a preliminary stage for aligning operation.

[続葉有]



2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

本発明は、光ファイバアレイと光学部品とを回路結合させるにあたって、調心作業を行う準備段階としての光ファイバのコア部と光導波路のコア部の位置を大まかに一致対向させ、両者間に、モニター光が伝わる状態にする作業が容易に実施できるようにすることを目的とするものである。

光ファイバアレイの上面または側面から肉眼で確認出来るマーカが、光ファイバ1の配列位置と所定の間隔を保って光ファイバ1と平行して配置された光ファイバアレイを準備し、前記光ファイバアレイの前記マーカの端面位置と、光学部品に設けた目印との位置合わせを行うことにより、容易に、光ファイバコア部と光導波路のコア部との間にモニター光が伝わる状態とすることができる。